



# ちよつと ひごと

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

## 情報推進課

☎(85)6586

FAX(85)1108

Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

## 夜中に花が消えてしまいました

昨年からガーデニングを始めています。

先日、春早くから丹精込めて育ててきた花が夜中に消えてしまいました。

一つは株ごとそっくり。一つは吊り下げておいたフラワーポットです。せつかく夏が来て花が一番きれいになる時期なのに。

今年は、素敵な庭になると楽しみにしていたのに、残念でたまりません。

花泥棒さん。どうして人の家の花なんか盗むのですか。盗んだ花をどうするのですか。

(登別東町 主婦)



## 勉強になった

## IT講習会

以前からパソコンの勉強をしたい

## 花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



## 肥料の与え過ぎには気をつけています

みやざききよよ  
宮崎后代さん  
登別東町4丁目25-1

「ガーデニングを本格的に始めたのは今年から。まだ初心者なんですよ」と笑う宮崎さん宅の庭は、ホウセンカや白妙菊などが地植えされているほか、ペチュニアやナススタチウムなど色鮮やかな花が植えられたフラワーポットやフラワースタンド、和風の花鉢などで、彩られています。

「花を植えるときに、油かすやコンポスターで作った堆肥などを元肥として埋め、花が咲き始めるころから追肥として液肥を薄くして加えています。肥料のやり過ぎは良くありませんね。花の表情を見ながら少しずつ与えています」と花殻をていねいに摘みながら話す宮崎さん。

宮崎さん宅の庭は、今インパチエンスやベゴニアの花が盛りを迎えています。

興味があったとは言っても、高齢の私にはできるかどうか少々不安がありました。習うは「一時の恥」と思い切って参加しました。

初めて触るマウスの操作は大変でしたが、講師の方が丁寧に教えてくれ楽しく受講することができました。今回は触ったという程度で終わりましたが、今後は、自分のパソコンを買って、離れて暮らす娘や孫とメールのやり取りができるようになれば最高です。

(二市民)



## あすなろ

いまいしろう  
今井史朗さん(27歳)

花鐘亭はなや勤務

心が通うことの喜び。旅館業の魅力が見えてきました

「この仕事に就くことに迷いがありました。父は、自分のやりたいことをやれと言ってくれましたが…」と話す今井さんは、現在、父が経営する旅館でフロントや誘客などの仕事に励んでいます。

旅館を継がなければという思いと、自由に進路を選びたいという思い。かつて、今井さんの気持ちは随分揺れたそうです。

「でも、お客様と接しているなかで、この仕事の魅力が見えてきました。言葉にしなくても気持ちは伝わる。ちょっとした心遣いでお客様に感謝されたときは、喜びとともにやりがいを感じますね」

今井さんは今年3月に結婚したばかり。語学の勉強などで行ったオーストラリアに、妻を連れて行くことが今井さんの今の夢です。

